

回しながらのぞきこむ ゾートロープ

制作時間：100分

1834年にイギリス人の高明な数学者ウィリアム・ジョージ・ホーナーによって発明されました。回転できるドラムの内側に一連の絵がはりつけられ、ドラムの外側にある切り込み（スリット）からのぞき見るものです。その絵の帯は取りはずしが可能で、自由に置き替えて楽しむことができます。

当初はクレタの名工ダイダロス作の像が動いて見えたという伝説に由来し、ディーダリウムと命名されました。その後別人により商品化され、現在のゾートロープという名前がつけられました。Zootrope はギリシア語で動物を表す語 zoion より名づけられました。日本では「回転のぞき盤」ともいわれ、フェナキスティスコープと同じ補完運動によって絵が動いて見えます。

今回は、12枚の絵を連ねる型紙を用意しました。始まりと終わりの絵が繋がるように描いておくことで、動きは、繰り返し（ループ）再生されます。

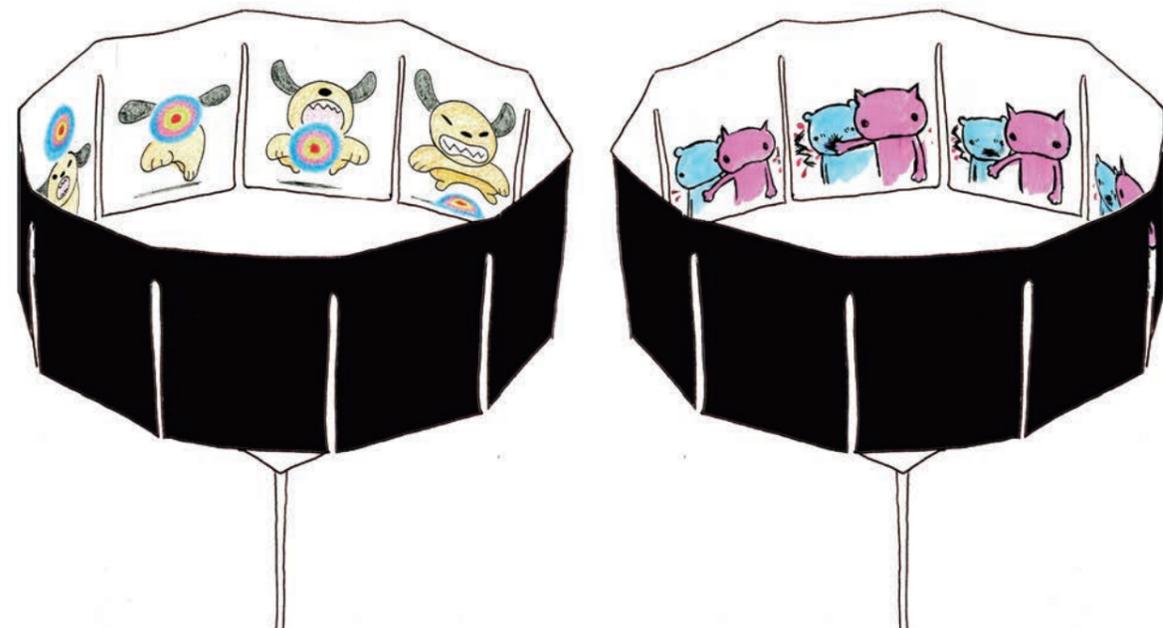
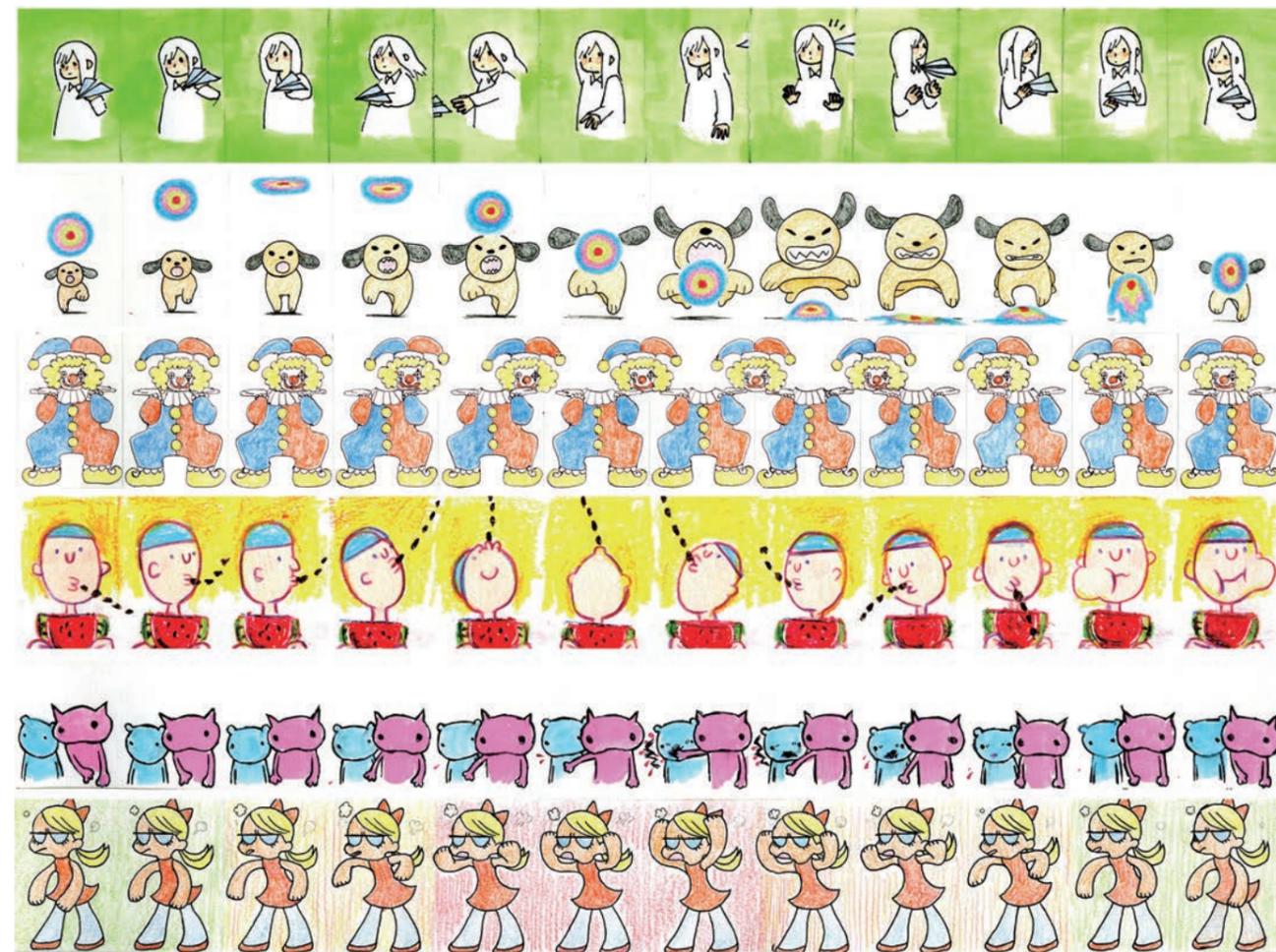


用意するもの

- 竹串 1つ
- ボール紙（型紙）
- 絵描き用紙
- のり
- カッター
- カッターマット
- ホッチキス



提供：Yamamura Animation



年 組 番 名前